

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがあります。

□の数字は、教科書のページ数です。

## 1年 ひきざん

123~133

- 14-8, 13-6のような、くり下がりのあるひき算ができるようにします。

〈計算のしかた〉

$$\begin{array}{r} 14 - 8 \\ \swarrow \quad \searrow \\ 10 \quad 4 \end{array}$$

(1) 14を10と4に分ける。  
 (2) 10から8をひいて2。  
 (3) 2と4で6。

ひかれる数を  
10といくつ、に分ける  
ことがポイントだね。

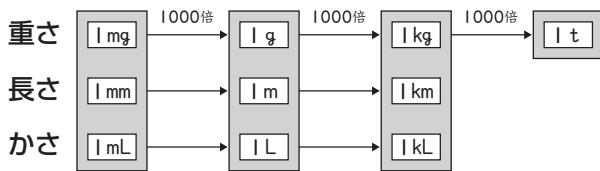


くり上がりのあるたし算やくり下がりのあるひき算は、上の学年での筆算で使われます。ひき算カードなどで、しっかり練習させましょう。

## 3年 重さ、分数

20~46

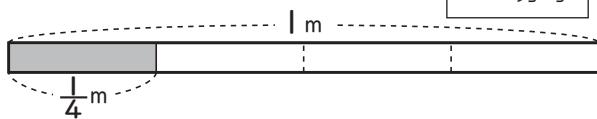
- 重さを表す単位を知り、はかりの使い方や重さの計算のしかた、単位のしくみを学習します。



- 分数のしくみを知り、表し方を理解して、分数のたし算とひき算を練習します。

〈表し方〉

$\frac{1}{4}$  分子  
分母



## 5年 わり算と分数、割合

163~186

- わり算と分数、分数と小数や整数との関係を学習します。

〈わり算と分数〉

わり算の商は、わられる数が分子、わる数が分母の分数で表すことができる。

〈分数と小数、整数〉

分数…分子を分母でわると小数で表せる。  
 小数…10, 100などを分母とする分数で表せる。  
 整数…1を分母とする分数とみることができる。

〈分数倍〉

(例)長さ2mのテープは、長さ  
 $3\text{m}$ のテープの何倍か。  
 $2 \div 3 = \frac{2}{3}$  倍

- 割合の考え方と用語、計算のしかたを学習します。

## 2年 かけ算九九づくり

27~43

- 5, 2, 3, 4のだんの九九にひきつづき、6のだん、7のだん、8のだん、9のだん、1のだんの九九の練習をします。

7のだんは唱えにくく、まちがえやすいので、特に気をつけましょう。

九九の表や図を使って、目で見ながら、何度も練習しましょう。

「倍」の意味を勉強するよ。  
 九九を覚えると便利なんだ。



## 4年 くらべ方、小数のしくみとたし算、ひき算

38~61

- 数・量の変わり方をくらべるのに、何倍になったかの割合を求めてくらべるしかたを学習します。

- 0.1より小さいはしたの表し方を知り、小数の位取りを学習します。また、小数のたし算やひき算のしかたも学習します。

$$\begin{array}{r}
 2.685 \\
 \uparrow \uparrow \uparrow \uparrow \\
 \text{一小} \ 1 \ 1 \ 1 \\
 \text{の数} \ 10 \ 100 \ 1000 \\
 \text{位点の} \ \text{の} \\
 \text{位} \ \text{位} \ \text{位} \\
 \text{小} \ \text{小} \ \text{小} \\
 \text{第} \ \text{第} \ \text{第} \\
 \text{一} \ \text{二} \ \text{三} \\
 \text{位} \ \text{位} \ \text{位}
 \end{array}
 \begin{array}{r}
 2.15 \\
 + 1.43 \\
 \hline
 3.58
 \end{array}
 \begin{array}{r}
 5.67 \\
 - 3.44 \\
 \hline
 2.23
 \end{array}$$

1. 位をそろえて書く。
2. 整数のたし算やひき算と同じように計算する。
3. 上の小数点の位置にそろえて、答えの小数点をうつ。

## 6年 角柱と円柱の体積、比

146~165

- 角柱と円柱の体積の求め方を学習します。

$$\begin{aligned}
 \text{角柱の体積} &= \text{底面積}(\text{底面の図形の面積}) \times \text{高さ} \\
 \text{円柱の体積} &= \text{底面積}(\text{底面の円の面積}) \times \text{高さ}
 \end{aligned}$$

- 比の意味と表し方がわかり、比を使って問題が解けるようにします。

〈比の表し方〉4と5の割合を「:」の記号を使って、「4 : 5」と表すことができる。

〈比の値〉 $a : b$ で表された比で、 $b$ を1とみたとき $a$ がいくつにあたるかを表した数を、比の値という。

〈比の性質〉 $a : b$ の両方に同じ数をかけたりわったりしてできる比は、 $a : b$ に等しい。